人プロつーしん -Jin Pro Tsushin-
第55号

■ 障がい者雇用とDX化の共通点！？
■ 四コマ漫画

プロ子女史（左）
…人材プロオフィスのイメージキャラクター
ぼしひこくん（右）
…地域サイト「枚方つーしん」のキャラクター

障がい者雇用とDX化の共通点!?

法改正に備え業務を〝見える化〟せよ

攻めの同時進行戦略！

2026年7月、障がい者法定雇用率の引き上げが目前に迫っています。従業員37・5人以上の企業にも雇用義務が適用され、「障がい者雇用」がより身近なテーマになる一方、人手不足や業務の複雑化など、多くの企業で〝働き方の見直し〟が急務となっています。こうした流れを受けて、今回は「障がい者雇用」と「DX化」を同時に進めながら、業務の効率化や役割の再設計を通じて、生産性の向上を目指すヒントについて、プロ子女史とぼしひこが語っているようです。ちょっと聞いてみましょう。

ぼしひこ（以下：ぼ）
なぁプロ子ちゃん、また法律変わるんやろ？障がい者の雇用率が上がるって…でもウチ、そんな大きい会社ちゃうし、関係ないやんな？

プロ子（以下：プ）
そう思いたい気持ちもわかるけど、2026年7月からは「常用労働者37・5人以上」の企業に雇用義務が発生するの。これは中小企業にも本格的に影響が出てくるってことよ。

ぼ：え～！マジかぁ～！37・5人…って切り捨てたらアカンの？てか、「0.5人」って誰の半身やねん！上半身下半身か？右半身左半身か？あ～気になるぅ～!!(笑)

プ：切り捨てちゃダメ(笑)「0.5人」も実際の雇用数で四捨五入してるだけ！それに、週10～20時間だけ働ける方も新たに算定対象に加えられたから、雇用の選択肢が広がる分、企業側の対策も必要ね。

ぼ：人手不足でヒィヒィ言うてるところに、コスト増や法改正に対応せなアカンって、押し寄せる荒波で溺れそうやわ…。

プ：分かるわその気持ち…。でも裏を返せば、これをうまく乗り切れれば企業の競争力アップにもなるってことよ。

プ：とくに「障がい者雇用」と「DX化」は、同時に進めることで相乗効果が見込めるの。

ぼ：え？障がい者雇用とDX化のなにが関係あるん？

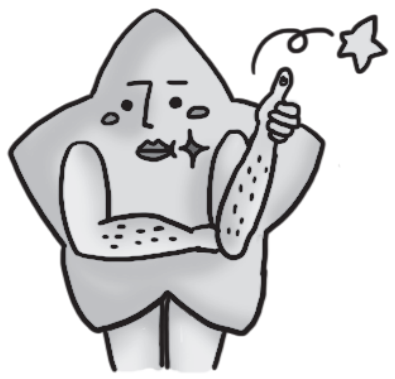
プ：実はね、障がい者の方に合った仕事をつくるために必要な「業務の切り出し」「マニュアル化」「見える化」って、まさにDX化の第一歩なのよ。

ぼ：たしかに…作業を誰でもできるように整理したら、自動化も進めやすいし、教える人の負担も減るってことやな。

プ：その通り。しかも、助成金を活用すれば、企業の実質負担を減らしながら雇用率も達成できるの。

ぼ：うわ、助成金!?そんなんあったら荒波乗り越えられるかもって希望が持てるわ。正月にお年玉よりこっちのが嬉しいかも！

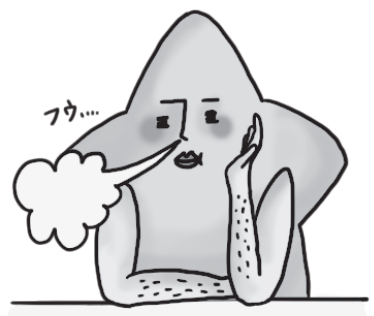
プ：お年玉もらえる年齢じゃないでしょ！(笑)でも確かに使い方次第で会社には大きな支えになるわ。



プ：例えば「職場介助者配置支援」なら最大60万円、「通勤用車両購入補助」なら135万円、「特定求職者雇用開発助成金」は種類によって高額支給もあるわよ。

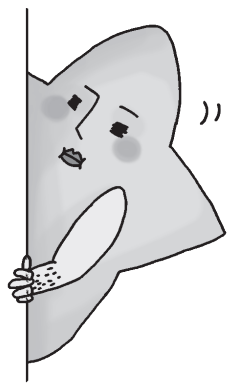
ぼ：そんなもらえるんか！それやったら「障がい者雇用してない罰金払うより絶対プラス」になるやん。

プ：そうなのよ。しかも要件を満たせば、ほぼ100%受給できるわ。スムーズに申請を進められるよう、フローチャートを作ったからぜひ参考にしてみてね！



ぼ：順番がわかってたら安心やな！でもうちは現場がバタバタしてるから、新しいことやる余裕ないんよなぁ。

プ：だからこそ、今のうちから「人に頼らない仕組み」づくりが大事なの。DX化を始めることがその助けになるはずよ。



ぼ：たしかに…今までも誰かが急に休んだり、病気になったり辞めたりしたら「その人にしかできない仕事」が回らんようになったもんなぁ。

プ：将来の人材流出リスクや労務トラブルの予防にもなるわね。

ぼ：……でも実際には、「そんなん言われても無理やし」って思ってる人、多いんちゃう？

プ：そうかもしれないわね。だからこそ、人プロに相談してほしいの。人材派遣だけじゃなく、アウトソーシングやユニット派遣の事業でも、しっかりサポートできる体制があるから。

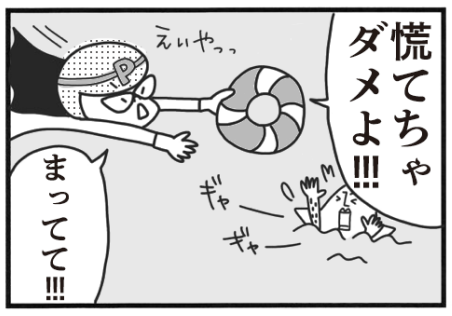
ぼ：おぉ、荒波で溺れそうになってたらプロ子ちゃんが浮き輪投げて助けてくれる感じやな！助かるぅ～！

プ：法改正の波に溺れないよう、今から備えていきましょ！準備が早いほど、チャンスも広がるわよ～！

人材プロオフィス拠点一覧

人材プロオフィスのアウトソーシング・ユニット派遣について

大阪から全国へ！
国内22拠点
▼ホームページはこちら
働く応援団の
人材プロオフィス



各種助成金の「鉄則」まとめ

職場介助者配置助成金	通勤用車両購入助成金	特定求職者雇用開発助成金
要事前申請	要事前申請	事後申請
期間：約6～9か月	期間：約4～6か月	期間：約9～12か月
・認定申請：**配置の前日まで**	・認定申請：**購入の前日まで**	・ハローワーク等の紹介で雇用
・認定通知後に配置or委嘱	・認定通知後に発注・購入	・採用後3～4か月で申請案内受取
・支給請求：6か月ごと	・支給請求：認定日から1年以内	・申請：雇入6か月終了翌日～2か月以内

各種助成金の手続き5ステップ

各種助成金に共通する基本的な流れをご紹介

1. **受給資格認定申請**
2. **認定通知**（審査結果の受領）
3. **措置の実施**（購入・配置・雇用）
4. **支給請求**（実績の報告）
5. **支給決定入金**（完了）

未来への差別化戦略

DXと雇用成功の「共通項」

全社的DX推進と法定雇用率達成は、一見異なる目標ですが、その初期プロセスは完全に一致します。
この**「共通項」**を最大限に活用することで、貴社の競争力は飛躍的に向上します。

DX推進（BPR）
- **業務の棚卸し・分析**
  既存業務フローの全体把握
- **システム・RPA導入計画**
  自動化対象の選定

→ \現場コスト最適化/ **生産性向上**

共通項
- 業務の分解/切り出し
- 業務のマニュアル化
- 業務の見える化

障がい者雇用成功
- **職務設計（ジョブカービング）**
  特性に合わせた業務の創出
- **職場環境の整備・定着支援**
  助成金の活用と継続雇用

→ \経営リスクの回避/ **法定雇用率達成**